

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 大
 コード番号 4558 URL http://www.chukyoyiyakuhin.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,010	△6.7	75	1.1	76	2.9	29	40.6
24年3月期第2四半期	3,225	△8.9	74	△59.9	74	△63.2	20	△50.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.89	—
24年3月期第2四半期	2.07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	4,731	2,408	50.9	236.29
24年3月期	5,158	2,389	46.3	235.33

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,408百万円 24年3月期 2,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50			
25年3月期(予想)			—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	△3.7	130	266.6	135	225.2	60	△67.9	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	10,785,734株	24年3月期	10,785,734株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	590,755株	24年3月期	632,629株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	10,173,543株	24年3月期2Q	10,098,763株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続き対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景に設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にある一方、欧州債務危機の再燃、夏場の電力不足も懸念されるなど、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。また、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売管理費削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、前々期の営業所統廃合により効率的になった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのリターナブルボトルの拡大に加え、今期4月よりボトルの回収が不要なOne-Way方式の稼働が始まり、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当事業年度における売上高は3,010百万円（前期比6.7%減）、営業利益は75百万円（前期比1.1%増）、経常利益は76百万円（前期比2.9%増）、四半期純利益は29百万円（前期比40.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきまして、小売部門においては、長引く景気停滞による個人消費の低迷や営業人員の増員が思うように進まなかったこと等により、売上高は減少しました。卸売部門においては、エアーマスクなどの新規取引の開拓に注力し明るい兆しが見え始めました。また営業効率は改善し販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、9月から大手量販店やドラッグストア等に幅広く投入されるエアーマスクなどの商品の販売促進費が上期に先行して発生したためセグメント利益も前期に比べ減少となりました。その結果売上高は2,751百万円（前期同期比7.9%減）、セグメント利益58百万円（前期同期比17.6%減）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。また今期よりOne-Way方式の導入により営業エリアが拡大され稼働を開始いたしました。その結果売上高は254百万円（前期同期比10.0%増）、セグメント利益16百万円（前期同期比359.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,511百万円となり、前事業年度末に比べ480百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少507百万円、受取手形及び売掛金の増加106百万円によるものであります。固定資産は2,219百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産その他の増加10百万円、投資その他の資産その他の増加52百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,731百万円となり、前事業年度末に比べ427百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,708百万円となり、前事業年度末に比べ438百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少370百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少59百万円によるものであります。固定負債は613百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少29百万円、固定負債その他の増加12百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,322百万円となり、前事業年度末に比べ446百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,408百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円増加いたしました。これは主に自己株式の減少17百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.9%（前事業年度末は46.3%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,588	971,083
受取手形及び売掛金	438,069	544,823
商品及び製品	350,456	339,750
委託商品	421,825	428,955
仕掛品	133	120
原材料及び貯蔵品	18,509	38,672
その他	295,643	201,979
貸倒引当金	△11,224	△13,927
流動資産合計	2,992,002	2,511,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	462,536	452,741
土地	1,226,855	1,226,855
その他（純額）	55,440	66,180
有形固定資産合計	1,744,833	1,745,776
無形固定資産	47,685	48,131
投資その他の資産		
その他	388,284	440,304
貸倒引当金	△14,261	△14,254
投資その他の資産合計	374,022	426,050
固定資産合計	2,166,541	2,219,958
資産合計	5,158,543	4,731,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,581	517,484
短期借入金	890,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	161,628	101,832
未払法人税等	10,759	12,368
賞与引当金	162,000	130,000
返品引当金	4,276	5,438
その他	410,033	421,347
流動負債合計	2,147,280	1,708,471
固定負債		
長期借入金	138,210	108,233
退職給付引当金	131,511	135,074
役員退職慰労引当金	309,460	315,820
資産除去債務	4,338	4,381
その他	38,439	50,462
固定負債合計	621,959	613,972
負債合計	2,769,239	2,322,444

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,861,712	1,857,168
自己株式	△269,446	△251,645
株主資本合計	2,397,330	2,410,587
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,026	△1,616
評価・換算差額等合計	△8,026	△1,616
純資産合計	2,389,304	2,408,971
負債純資産合計	5,158,543	4,731,415

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,225,094	3,010,598
売上原価	1,124,663	1,056,219
売上総利益	2,100,431	1,954,378
販売費及び一般管理費	2,025,696	1,878,843
営業利益	74,734	75,534
営業外収益		
受取利息	249	175
受取配当金	852	830
受取家賃	8,796	6,187
保険解約返戻金	6,112	2,031
その他	3,483	2,787
営業外収益合計	19,495	12,013
営業外費用		
支払利息	8,003	3,111
支払手数料	10,500	7,965
その他	1,503	89
営業外費用合計	20,007	11,166
経常利益	74,222	76,381
特別利益		
投資有価証券売却益	696	—
その他	54	—
特別利益合計	750	—
特別損失		
固定資産除却損	64	—
減損損失	717	—
投資有価証券評価損	13,695	10,338
災害による損失	5,611	—
その他	80	—
特別損失合計	20,167	10,338
税引前四半期純利益	54,805	66,043
法人税、住民税及び事業税	7,683	7,406
法人税等調整額	26,250	29,285
法人税等合計	33,933	36,691
四半期純利益	20,871	29,351

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	54,805	66,043
減価償却費	31,329	31,352
減損損失	717	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	139	2,695
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△62	3,563
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,000	△32,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16,490	6,360
受取利息及び受取配当金	△1,102	△1,006
支払利息	8,003	3,111
固定資産処分損益 (△は益)	64	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△616	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,695	10,338
売上債権の増減額 (△は増加)	△56,901	△106,753
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,950	△16,573
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,204	8,903
その他	△44,470	16,319
小計	△59,633	△7,646
利息及び配当金の受取額	1,021	922
利息の支払額	△8,003	△3,111
法人税等の支払額	△29,217	△6,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,833	△16,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,200	△19,800
定期預金の払戻による収入	26,400	19,200
有形固定資産の取得による支出	△3,532	△8,388
投資有価証券の売却による収入	3,216	—
貸付金の回収による収入	420	882
その他	12,146	1,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,450	△6,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△59,300	△370,000
長期借入れによる収入	298,500	—
長期借入金の返済による支出	△263,015	△89,772
リース債務の返済による支出	△6,884	△9,309
自己株式の取得による支出	△27	△6
自己株式の売却による収入	1,510	9,294
配当金の支払額	△25,247	△25,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,462	△485,176
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△133,846	△508,104
現金及び現金同等物の期首残高	809,878	1,317,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,032	809,768

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
計	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
セグメント利益	48,806	22,226	3,702	74,734	—	74,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売部門」セグメントにおいて、八戸営業所の減損損失717千円を計上しております。

II 当第2四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
計	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
セグメント利益 又は損失(△)	62,078	△3,539	16,995	75,534	—	75,534

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。